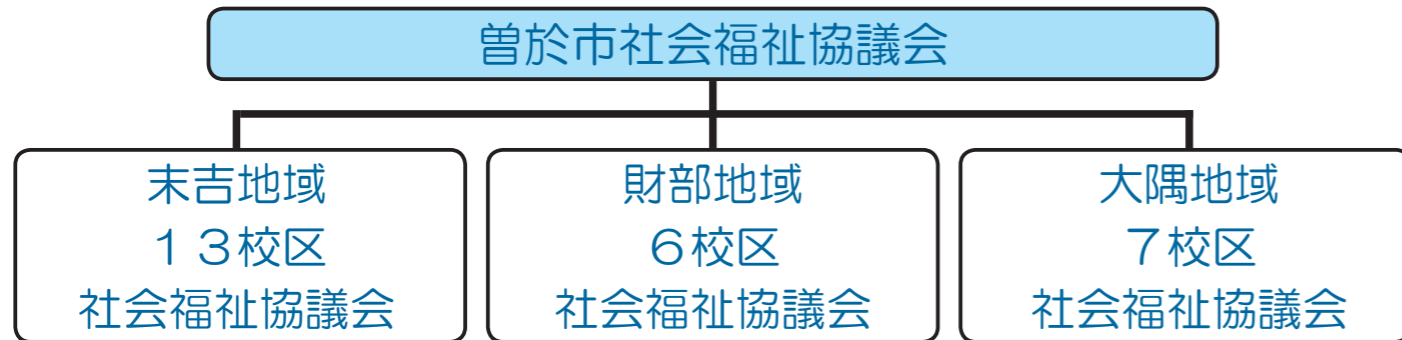


曾於市 26 校区社会福祉協議会を基盤にした地域福祉活動を推進

曾於市地域包括ケアシステムづくりにおいても、地域での互換の役割が重要です。社会福祉協議会は、今後の地域福祉活動の方向性として、制度外の福祉サービスを推進し、当事者の課題やニーズを地域住民に理解してもらうために、校区社会福祉協議会を中心に下記の活動を推進してまいります。

曾於市内では、地域の方々により小学校区を基本とした
26の校区社会福祉協議会を設置



●小学校区をエリアとしたささえあい体制づくりを推進します

小学校区をエリアとする校区社協 26 校区を設立し、その中で、日常生活圏域の見守り活動・地域課題の掘り起しやつなぎ、サロン活動の開催などを行っています。

26 校区の生活環境や立地が異なるため、地域課題に取り組む体制づくりを校区エリアで行います。また、校区エリアからミクロなネットワークとして民生委員担当区というエリアで、支え合いマップという手法で個別課題の抽出や地域課題の発見につなげていきます。

●モデルとなる地域福祉活動の拠点づくりを推進します

地域の中に地域福祉拠点を置き、校区社協活動を展開しています。

きめ細やかな生活圏域での、課題の抽出や顔なじみの関係の中から支え合いの体制づくりを行っています。現代の福祉課題・生活課題の多くは、住民同士のつながりの希薄化や社会的孤立などが要因となっています。

住民が主体的に課題の解決に取り組ながら要援護者と地域とのつながりを再構築していく取り組みが期待されています。また、介護予防や認知症の講座の開催、ふれあい・いきいきサロンの拡大、多世代との交流・趣味の場づくりなど多様で多彩な活動が行なわれています。

今後、モデルとして校区社協を拠点とした地域福祉活動を普及していきます。

●小地域で行う「ふれあい・いきいきサロン活動」を推進します

自治会単位で行っている「ふれあい・いきいきサロン活動」が今後は重要となります。住民が主体となり、自分たちのスタイルに合った介護予防や安否確認を兼ねた活動のやり方を話し合い、みんなで作るお茶飲み会が 1 自治会に 1 ケ所ずつ立ち上げられるようにしていきます。

活動助成も引き続き財源確保を行いながら、広く多様なサロン活動が展開できるよう支援していきます。

曾於市 地域福祉計画 地域福祉活動計画 概要版

地域福祉とは？

地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていくことです。

地域福祉計画とは？

地域の住民が主役となって、地域福祉を推進しようという取組で、地域の住民が自ら積極的に社会福祉活動へ参加したり、住民同士が共に支え合い助け合うためのまちづくりの計画です。

地域福祉活動計画とは？

地域の住民や福祉・保健の団体や事業者が、地域福祉を推進する為の具体的な活動計画です。地域住民やボランティアが、地域福祉をどのように推進していくかが記載されています。

～ 計画の基本的な考え方 ～

計画推進にあたって、計画の基本理念を以下の通りとしました。

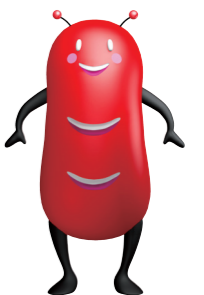
暮らしの基本としての、生涯にわたる心と身体健康づくり

子どもの時からの福祉に対する意識づけをはじめ、地域住民での支え合い活動を推進することで暮らしそのものを豊かにし、健康寿命を延ばしていきます。

幼児～青年	成人	高齢者
地域で子育て 子どものときからの健康づくり 福祉に対する意識づけ	近隣との顔見知り 地域での関係づくり 生活習慣病予防	地域で老後 介護予防・健康維持 地域での役割発揮による 生きがいづくり
安全な住まいや近所・地域の環境づくり・自助、共助、公助の組み合わせ 健康を基本とした近所や校区社会福祉協議会や校区公民館、各種団体・事業所での 地域・人とのつながりづくり		

地域支え合いによる「暮らし・地域の豊かさ」のコミュニティづくり

アンケート調査の結果によると「地域とのつながり」、「地域でのお互い様（お互いの支え合い）」があることが、暮らしと地域の豊かさとして望まれていることが分かりました。従って、その理解・意識づくりを地域福祉の基本として位置づけます。



地域福祉計画の取り組み



計画を推進するための地域福祉への取組として、7つの推進目標を設定しました。

市民の取組 ～自助・共助【住民一人ひとり・住民同士ができること】～



推進目標1 福祉サービスを充実させよう

- ・隣近所で困っている人を支援し、気付いた事は行政の相談窓口や民生委員児童委員に報告・相談しましょう。
- ・社会福祉団体や行政が発信している情報や広報紙を読むようにしましょう。
- ・地域のボランティア活動に参加して、地域福祉活動を行ないましょう。
- ・福祉を必要としている人について、情報を共有しましょう。
- ・有料ボランティアなどの福祉サービスを利用・参加しましょう。

推進目標2 福祉の情報を入手・交換・提供しよう

- ・「ふれあい・いきいきサロン活動」に積極的に参加しましょう。
- ・広報紙・リーフレット・ホームページに普段から目を通して、生活に必要な情報を収集し、入手した情報を家族や知り合いに伝えましょう。
- ・困った事や知りたい事がある時には、家族や知り合い、行政の相談員に何でも相談しましょう。
- ・「生涯学習講座」などの教養講座に積極的に参加しましょう。
- ・「地域のイベント」や「自治会」などに参加・加入し、情報を収集しましょう。
- ・地域で福祉サービスを必要としている人がいないか、日常の会話の中で情報を交換しましょう。
- ・住民同士で協力して情報を交換・共有できるように相談できる機会や人材を確保しましょう。

推進目標3 福祉の心を育てよう

- ・地域の福祉学習会や福祉講座、清掃活動に積極的に参加し、高齢者や障害のある人とのふれあう機会を持ちましょう。
- ・行政や社会福祉協議会、福祉活動団体から配布される広報紙を読み、福祉の心を育てましょう。
- ・地域で行われる行事への参加を知人や隣近所に呼びかけましょう。

推進目標4 地域の交流の場をつくろう

- ・地域での行事やサロン活動、防災・防犯活動に、隣近所を誘い合って参加しましょう。
- ・隣近所と会った時には、あいさつを心がけ、話しかけ交流するようにします。
- ・知り合った地域の人たちと、会話や相談をして、人と人のつながりの輪を広げましょう。
- ・地域の行事を行なったり、地域住民がふれあえる場を作りましょう。
- ・地域の行事や活動に協力し、地域住民の参加を呼びかけましょう。

推進目標5 ボランティア活動を推進しよう

- ・ボランティア活動や研修会、講座に積極的に参加し、活動の体験を友人や知人に伝え、仲間を増やしましょう。
- ・ボランティア登録をして、特技や経験を活かしましょう。
- ・誰でも参加できるボランティア活動を企画・開催しましょう。
- ・住民同士でボランティアの情報収集・発信を行い、ボランティアに参加できる機会を増やしましょう。

推進目標6 地域の担い手を育てよう

- ・地域に関心を持ち、地域で行なわれる行事に積極的に参加しましょう。
- ・ボランティア講座や研修などに参加して、地域福祉活動について学びましょう。
- ・隣近所で声を掛け合い、市民の地域で行なわれる行事への参加を推進し、地域のリーダーとなれる人材の育成を行いましょう。

推進目標7 地域を見守り・支え合おう

- ・日ごろから一人暮らしの高齢者や障害者への声かけや訪問を行い、近所付き合いを大切にしましょう。
- ・身近に助けが必要な人がいた場合や、見守りで気付いたことがあった場合は、地域の福祉リーダーに連絡・相談しましょう。
- ・福祉団体やボランティアグループが実施する地域の行事やイベントに、積極的に参加しましょう。
- ・地域で活動している自主防災組織や防災訓練、見守りネットワークなどに参加・協力しましょう。
- ・住民同士による地域の見守り体制を整備し、スクールガードや防犯パトロールなどを通じた声かけ活動を行いましょう。
- ・災害に対応する自主防災組織の整備や防災訓練の実施、避難場所や避難経路の確認を行いましょう。
- ・災害時に避難が必要になる人の有無や、避難方法、避難時の支援方法について確認しておきましょう。
- ・地域住民で構成される自主防災組織との連携や防災時ボランティア制度の普及と啓発を行います。

基本理念

健やかで共に支え合う福祉のまちづくり